

菊池広域連合告示第11号

菊池広域連合財政事情の公表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例（平成10年菊池広域連合条例第23号）第2条第1項の規定に基づき、菊池広域連合財政事情を別紙のとおり公表する。

令和3年6月1日

菊池広域連合長 荒木 義行

菊池広域連合の財政事情

令和3年6月1日公表

目 次

まえがき	1
1 令和2年度下半期一般会計の執行状況	2～3
2 令和2年度広域連合構成市町村負担金の状況	4
3 広域連合財産の状況	5～6
4 令和3年度一般会計の状況	
1) 令和3年度予算編成の基本的な考え方	7～9
2) 主な事業	10
3) 当初予算の推移	11
4) 歳入予算項目別構成比	12
5) 歳出予算目的別構成比	13
6) 歳出予算性質別構成比	14

ま え が き

この「菊池広域連合の財政事情」は、地方自治法及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例の規定により、毎年6月1日と12月1日の2回公表しているものです。

今回は、令和2年度下半期（令和2年10月1日から令和3年3月31日）における一般会計の執行状況や、令和3年度一般会計当初予算などを内容としております。

1. 令和2年度 下半期一般会計の執行状況

■歳入

(単位:千円、%)

区分	当初予算額	第1号 (6月補正)	第2号 (7月補正)	第3号 (10月補正)	第4号 (12月補正)	第5号 (2月補正)	第6号 (3月補正)	最終予算額	上半期 収入済額	下半期 収入済額	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	2,573,541							2,573,541	2,058,833	514,708	2,573,541	100.0%
2 使用料及び手数料	31,830					△ 1,715		30,115	14,378	17,522	32,936	109.4%
3 国庫支出金												0.0%
4 県支出金	4,528					365		4,893		4,894	4,894	100.0%
5 財産収入	73						9	82		82	82	100.2%
6 繰入金	82,000	2,304	△ 1,645	211	8,975	△ 63,430	93	28,508		28,508	28,508	100.0%
7 繰越金	7,000							7,000		7,000	7,000	100.0%
8 諸収入	242					114		356	142	312	454	127.6%
9 連合債	152,400		2,200			△ 1,400		153,200		153,200	153,200	100.0%
合 計	2,851,614	2,304	555	211	8,975	△ 66,057	93	2,797,695	2,073,353	726,226	2,800,616	100.1%

※27億9,769万5千円の予算に対し、収入済額は28億61万6千円、100.1%の収入率となっています。

■歳出(目的別)

(単位:千円、%)

区分	当初予算額	第1号 (10月補正)	第2号 (11月補正)	第3号 (2月補正)	第4号 (3月補正)	第5号 (2月補正)	第6号 (3月補正)	予備費支出 及び流用増減	最終予算額	上半期 支出済額	下半期 支出済額	執行済額	執行率
1 議会費	2,465					△ 1,017			1,448	291	3,037	1,255	86.7%
2 総務費	95,009	2,304			7,682	△ 1,287	93		103,801	34,857	60,108	103,337	99.6%
3 民生費	59,977					△ 881			59,096	9,294	46,307	56,514	95.6%
4 衛生費	391,420					△ 43,832			347,588	67,495	178,688	343,415	98.8%
5 消防費	2,107,947		555	211	1,293	△ 87,924			2,022,082	760,781	1,057,059	2,000,813	98.9%
6 公債費	187,796					109			187,905	107,931	183,818	187,903	100.0%
7 予備費	7,000					68,775			75,775				0.0%
合計	2,851,614	2,304	555	211	8,975	△ 66,057	93	0	2,797,695	980,650	1,529,017	2,693,237	96.3%

※27億9,769万5千円の予算に対し、執行済額は26億9,323万7千円、96.3%の執行率となっています。

2. 令和2年度 広域連合構成市町負担金の状況

■市町負担金の状況

(単位：千円、%)

市町村名	当初 予算額	補正額	最終 予算額	上半期 収入済額	下半期 収入済額	収入済額	収入率	備 考
菊池市	864,166	0	864,166	691,333	172,833	864,166	100.0%	
合志市	694,732	0	694,732	555,785	138,947	694,732	100.0%	
大津町	504,652	0	504,652	403,722	100,930	504,652	100.0%	
菊陽町	509,991	0	509,991	407,993	101,998	509,991	100.0%	
合 計	2,573,541	0	2,573,541	2,058,833	514,708	2,573,541	100.0%	

■市町負担金の内訳

(単位：千円)

市町村名	管理費	調 査 研究費	研修費	介 護 保険費	火葬場費	し 尿 処理費	消防費	障害者総 合支援費	無縁仏納 骨堂費	合 計
菊池市	19,857			20,761	8,233	196,639	614,103	4,573		864,166
合志市	23,666			16,237	9,812	33,024	607,623	4,370		694,732
大津町	14,364			9,573	5,955	70,139	402,314	2,307		504,652
菊陽町	17,175			9,440	7,121	24,332	449,380	2,543		509,991
合 計	75,062	0	0	56,011	31,121	324,134	2,073,420	13,793	0	2,573,541

3 広域連合財産の状況

令和3年3月末現在

1 公有財産

(1) 土地及び建物

(単位：㎡)

区 分	土 地 (地 積)			建 物								
	前年度末 現 在 高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高	木造 (延面積)			非木造 (延面積)			延面積計		
				前年度末 現 在 高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高	前年度末 現 在 高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高	前年度末 現 在 高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高
その他の 行政機関	消 防 本 部 署						1,966.00	0.00	1,966.00	1,966.00	0.00	1,966.00
	北 消 防 署						2,241.85	0.00	2,241.85	2,241.85	0.00	2,241.85
	西 消 防 署						1,219.96	0.00	1,219.96	1,219.96	0.00	1,219.96
	泉ヶ丘消防署						403.64	0.00	403.64	403.64	0.00	403.64
	泉ヶ丘消防署 予 定 地	0.00	6,252.00	6,252.00								
	その他の施設											
公共用財産	学 校											
	公 営 住 宅											
	公 園											
	その他の施設	18,461.50	0.00	18,461.50	19.76	0.00	19.76	6,092.32	0.00	6,092.32	6,112.08	0.00
山 林												
合 計	18,461.50	6,252.00	24,713.50	19.76	0.00	19.76	11,923.77	0.00	11,923.77	11,943.53	0.00	11,943.53

2 物 品

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
備 品	名 称			
	4t ダンプトラック	1 台	台	1 台
	軽トラック	1 台	台	1 台
	フォークリフト	1 台	台	1 台
	庁用車	1 台	台	1 台
	連絡車	2 台	±1 台	2 台
	査察車	3 台	台	3 台
	救急普及啓発車	1 台	台	1 台
	指揮車	4 台	±1 台	4 台
	高規格救急車	8 台	1 台	9 台
	救急車 (準)	1 台	-1 台	0 台
	ポンプ車	4 台	台	4 台
	タンク車	2 台	1 台	3 台
	化学車	2 台	-1 台	1 台
	梯子車	1 台	台	1 台
	救助積載車	1 台	-1 台	0 台
	多目的車	1 台	台	1 台
	多目的ポンプ車	1 台	台	1 台
	救助工作車	3 台	±1 台	3 台
	資機材搬送車	2 台	1 台	3 台
	小 計	40 台	0 台	40 台

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
備 品	名 称			
その他備品	ドラフトチャンバー	1 台	台	1 台
	遺体保冷库	1 台	台	1 台
	発電機	1 台	台	1 台
	防災エアートント	2 台	台	2 台
	高度救急処置シミュレーターII型	1 台	台	1 台
	高度救命処置用訓練人形（レサシア ンシミュレータ・Simpad）	2 台	台	2 台
	インパルス消火器具	2 台	-1 台	1 台
	自動体外式除細動器一式	2 台	台	2 台
	体力練成器具コンビネーションマ シーン	1 台	台	1 台
	大型油圧救助器具	1 台	-1 台	0 台
	救助器具空気マット（エアーマイ ティ）v-10v-68	1 台	-1 台	0 台
	救助用チタン三連梯子	1 台	台	1 台
	大型油圧救助器具3段ストロークラ ムシリンダー	1 台	-1 台	0 台
	熱画像暗視装置	1 台	-1 台	0 台
	救急患者監視モニター1式	1 台	-1 台	0 台
	高機能消防指令システム機器一式	1 台	台	1 台
	アルミ製三連はしご	1 台	台	1 台
	消防救急デジタル無線設備一式	1 台	台	1 台
	空気充填用高压コップレジャー一式	1 台	台	1 台
	小 計	23 台	-6 台	17 台
合 計	63 台	-6 台	57 台	

3 債 権

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
貸 付 金	千円	千円	0 千円

4 基 金

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不 動 産	土地	山林	m ²	m ²
			m ²	m ²
	立 木			
有 価 証 券		千円	千円	千円
現 金	218,955 千円	106,768 千円	325,723 千円	

4. 令和3年度一般会計の状況

1) 令和3年度 予算編成の基本的な考え方

国の動向

9月の月例経済報告によると、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。」としている。

さらに、国の「経済財政運営と改革の基本方針（以下、「骨太の方針」という）2018」で示された「新経済・財政再生計画」においては、「2021年度までにおいて、2018年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保する」との方針が明記されているが、国・地方ともに新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な税収の減少が見込まれ、地方一般財源の確保は極めて不透明な状況となっている。

一方、令和3年度予算編成に向けた「骨太の方針2020」においては、感染拡大により明らかになった課題を克服し、「新たな日常」を通じた「質」の高い経済社会の実現を目指すこととされ、それに向けた社会変革への方向性として「デジタル化への集中投資」、「東京一極集中から多核連携型の国づくり」などの施策項目が示された。

また、激甚化・頻発化する水災害、切迫化する大規模地震災害等への対応として、令和2年度までの「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」後も「中長期的視点に立って計画的に取り組むため、必要・十分な予算を確保し、オールジャパンで対策を進め、国家百年の大計として、災害に屈しない国土づくりを進める」とされるなど、地方においても国とともにこの国難を乗り越えていくため、財政負担が増大していくことは必至の状況である。

県の動向

現時点において、県の令和3年度予算編成方針等も策定中だと思われるが、「熊本地震」、「新型コロナウイルス感染症」「豪雨災害」の対応により、財政調整基金が底をつくなど、厳しい財政運営となっている

感染症の収束も見通しづらく、県経済への影響も不透明であり、大幅な収支減も懸念される中、「熊本地震、感染症、豪雨災害」の3つの重要な課題に対応するため、真に必要な事業への選択と集中を行い、これまで以上に将来負担を考慮した予算編成が見込まれる。

構成市町の動向

現時点において、構成市町の令和3年度予算編成方針等も策定中だと思われるが、概ね国・県と同フレームに沿った予算編成と同時に、熊本地震における復興支援・新型コロナウイルス感染症対策等に関連する予算編成が見込まれる。

予算編成の基本方針

令和3年度予算については、これまでにない厳しい財政環境の中にあって、菊池広域連合広域計画に掲げる施策をより一層の効率的な手法を採りつつ効果的に推進するとともに、国の制度変更や、社会経済状況の変化への的確な対応、特に、「新たな日常」などの今後の社会変容を見据えた新たな取組を進めていくため、次の考え方に基づいて予算編成を進めるものとする。

以上を踏まえ、令和3年度の予算は、次のように編成する。

(1) 既存事業の徹底した見直し

- 新たな政策課題に対し、限られた人員体制・財源の下で解決を図るためには、コロナ時代に合った形に事業をリニューアルするなど、既存事業の抜本的な見直しにより、新たな事業展開に要する「マンパワー」と「財源」を生み出すこと。

(2) 職員定数の適正化及び長時間労働の抑制

- 既存事業の統廃合、委託化、業務の効率化等に努め、真に職員が行うべき業務を明確にすることにより、職員定数の適正化について検討を行うこと。

- 勤務時間に対する意識を改革し、長時間労働の抑制に取り組むこと。
- 会計年度任用職員制度の適切な運用に努めること。

(3) 公共事業等の徹底した重点化

- 投資的経費については、連合債発行を伴うことが多いことから、新発債の抑制を図るためにも徹底した平準化と重点化を図る必要がある。このため、公共事業等については、事業効果の早期発現、緊急性、費用対効果及び後年度財政負担等を十分に勘案し、緊急性の高い対策へ事業を厳選する。

なお、その際には、国の「3か年緊急対策」後の予算の動向や地方債制度の変更を注視し、充当率や交付税措置の有利な起債を最大限活用することで、将来負担を軽減しながら取り組む。

2) 主な事業

(1) 議会費	予算額	4,612 千円
① 広域連合議会事業		3,728 千円
② 菊池地域議長会事業		884 千円
(2) 総務費	予算額	88,856 千円
① 総務係事業		88,553 千円
給料		18,638 千円
職員手当等		13,104 千円
派遣職員負担金		34,800 千円
② 選挙管理委員会事業		31 千円
③ 監査委員事業		272 千円
(3) 民生費	予算額	56,360 千円
① 介護保険事業		42,345 千円
委員報酬（介護認定審査会委員）		11,340 千円
派遣職員負担金		23,100 千円
② 障がい者福祉係事業		14,015 千円
委員報酬（障害者総合支援審査会委員）		1,755 千円
派遣職員負担金		11,500 千円
(4) 衛生費	予算額	276,276 千円
① 火葬場事業		65,567 千円
火葬業務（委託料）		26,481 千円
菊池、大津火葬場火葬炉設備改修工事 他（工事請負）		16,041 千円
② 環境衛生係事業		14,803 千円
派遣職員負担金		14,500 千円
③ し尿処理場事業		195,906 千円
医薬材料費		28,687 千円
運転管理業務（委託料）		63,670 千円
クリーンセンター花房補修工事		51,895 千円
(5) 消防費	予算額	1,947,310 千円
① 常備消防費（総務課事業）		1,614,220 千円
給料		653,563 千円
職員手当等		575,858 千円
通信指令システム保守管理委託		19,779 千円
② 消防施設費（総務課事業）		333,090 千円
実施設計委託料		38,500 千円
消防関連施設整備工事		144,458 千円
備品購入費（消防車両等）		41,825 千円
消防施設整備基金積立金		100,000 千円
(6) 公債費	予算額	181,304 千円
① 衛生費償還事業 元金		2,101 千円
② 衛生費償還事業 利子		27 千円
① 消防費償還事業 元金		177,632 千円
② 消防費償還事業 利子		1,544 千円
(7) 予備費	予算額	7,000 千円

3) 【 当初予算の推移 】

菊池広域連合は、旧菊池郡市8市町村を構成市町村として平成10年7月1日に発足しました。その後、平成の大合併を経て2市2町の構成市町となり現在に至っています。

発足当時の処理事務は以下の5つとなっていました。

- ・「関係市町村の一体的整備に係る調査研究及び連絡調整に関すること」
- ・「菊池広域市町村圏計画の策定及び同計画の実施に必要な連絡調整に関すること」
(平成17年3月22日の新菊池市誕生により削除)
- ・「広域行政体制の整備に関すること」
- ・「関係市町村職員等の集合研修に関すること」
- ・「墓地、埋葬等に関する法律に基づく火葬場の設置、管理及び運営に関すること」

その後、以下の処理事務を追加しています。

- ・平成11年4月に「介護保険法に基づく介護認定審査会の設置及び運営に関すること」
 - ・平成13年5月に「し尿処理施設の設置、管理及び運営に関すること」
 - ・平成17年2月に「消防に関すること」
 - ・平成17年2月に「熊本県知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例第2条の規定により広域連合が処理することとされている事務に関すること」
 - ・平成18年4月に「障害者総合支援に関する法に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の設置及び運営に関すること」
 - ・平成24年4月に「墓地、埋葬等に関する法律第9条第1項の規定により関係市町が行う火葬に係る焼骨を収蔵する納骨堂の設置、管理及び運営に関すること」
- 以上のような処理事務の追加に伴い、現在の予算規模となりました。

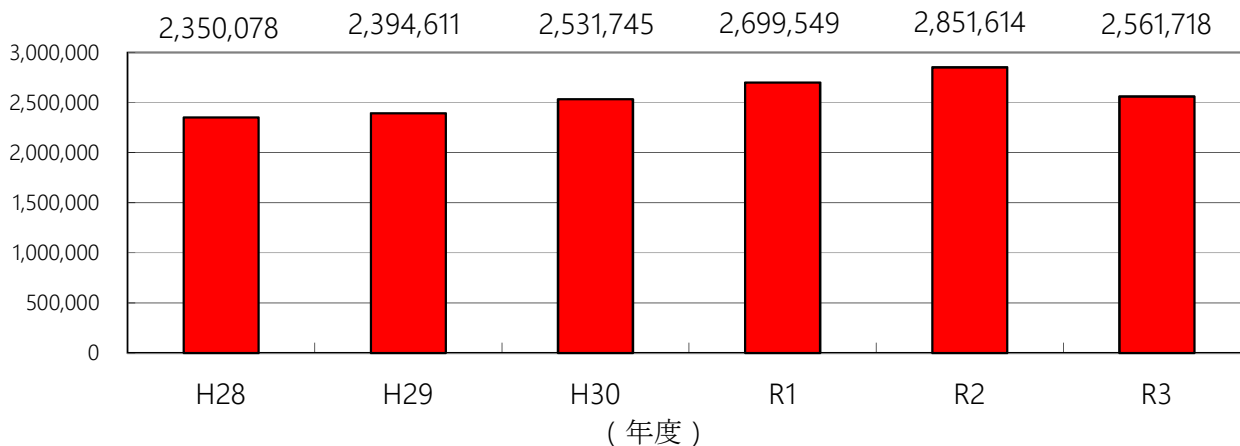
令和3年度については、両火葬場の火葬炉設備改修工事、クリーンセンター花房の動力制御盤PLC及びタッチパネル他整備工事、高機能消防指令施設部分更新工事及び泉ヶ丘署造成工事、災害対応特殊救急自動車の整備等を予定しております。

(単位：千円、%)

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
当初予算額	2,350,078	2,394,611	2,531,745	2,699,549	2,851,614	2,561,718
前年度伸率	△ 17.5	1.9	5.7	6.6	5.6	△ 10.2

当初予算総額の推移

単位：千円



4) 歳出予算目的別構成比

令和3年度の菊池広域連合一般会計予算が、令和3年3月24日に開催された令和3年第1回菊池広域連合議会定例会で可決されました。予算額は、歳入歳出それぞれ25億6,171万8千円で、前年度の当初予算28億5,161万円4千円と比較して2億8,989万6千円（前年比10.17%減）の減額となっています。

(1) 歳入

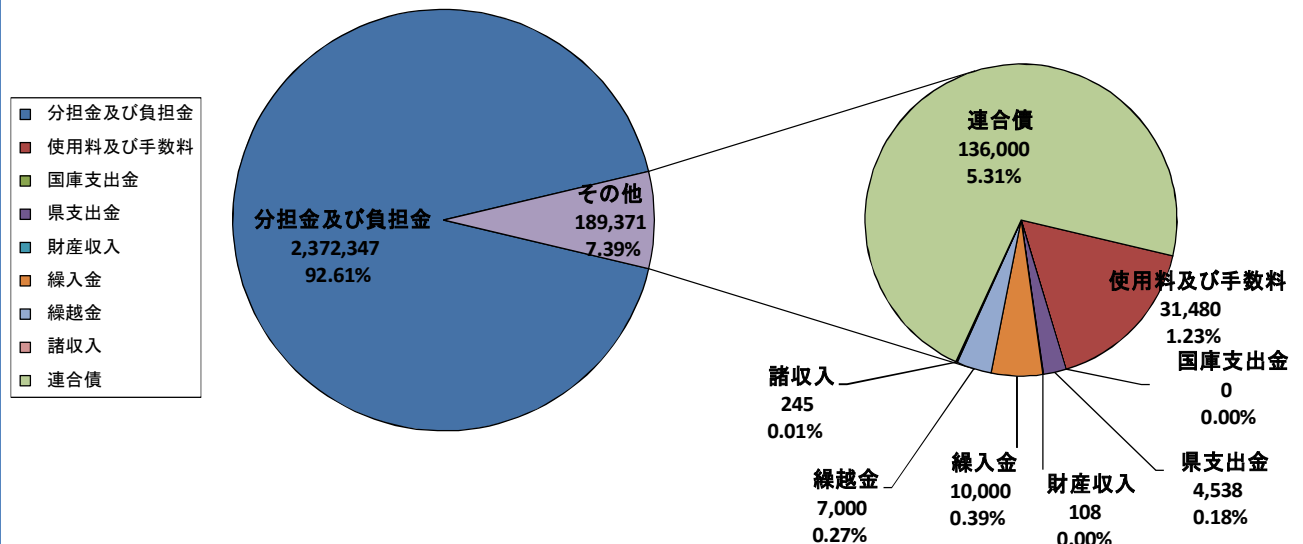
端数により100にならないものもあります

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度		令和2年度		対前年比	説 明
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
分担金及び負担金	2,372,347	92.61%	2,573,541	90.25%	△ 201,194	市町負担金 菊池市 781,991 合志市 649,899 大津町 457,825 菊陽町 482,632
使用料及び手数料	31,480	1.23%	31,830	1.12%	△ 350	火葬場使用料、消防費手数料 他
国庫支出金	0	0.00%	0	0.00%	0	
県支出金	4,538	0.18%	4,528	0.16%	10	防災消防航空隊派遣職員負担金 他
財産収入	108	0.00%	73	0.00%	35	財政調整基金利子 他
繰入金	10,000	0.39%	82,000	2.88%	△ 72,000	財政調整基金繰入金
繰越金	7,000	0.27%	7,000	0.25%	0	前年度繰越金
諸収入	245	0.01%	242	0.01%	3	普通預金利子、自動販売機電気料 他
連合債	136,000	5.31%	152,400	5.34%	△ 16,400	泉ヶ丘消防庁舎整備・災害対応特殊救急自動車
合 計	2,561,718	100.0%	2,851,614	100.0%	△ 289,896	

連合の予算については、歳入の大半が構成市町の負担金（令和3年度構成比：92.61%）であることから、構成市町の負担金については、財政担当課等との協議、調整の上、予算編成を行っています。構成市町の負担金の算定にあたっては、特に財政調整基金からの繰入金によって調整を行っており、構成市町負担金が単年度において極端に増えないよう調整しております。また、基金については、事業毎それぞれに財政調整基金残高（年度末）目標を設定し、し尿処理費は4年から5年で約1億円（4年から5年毎に実施される回転平膜分離装置交換費用として約1億円の捻出）、消防費については、消防車両の計画的更新のため約1億円、また、令和5年度を目途に泉ヶ丘消防署の建替えを予定しており毎年1億円としております。これらの目標設定に基づき今年度繰入金を調整し、負担金を決定しています。今年度の市町負担金は23億7,234万7千円で、2億119万4千円（前年比7.82%減）の減額です。事業別負担金の増・減額内訳は、総務費分は238万7千円の減、介護保険費分は382万円の減、障がい者総合支援費分は22万3千円の増、火葬場費分は104万5千円の増、し尿処理費分は1億43万9千円の減、消防費分は9,581万6千円の減となっております。使用料及び手数料は35万円（前年比1.1%減）の減額です。主な減額の理由は、火葬場使用料の減額（前年比35万円減）です。県支出金は1万円（前年比0.22%増）の増額です。主な増額の理由は、熊本県防災消防航空隊員派遣職員負担金（前年比25万1千円増）の増額です。財産収入は3万5千円（前年比47.95%増）の増額となっています。増額の理由は、財政調整基金として積立てている定期預金利率の変更によるものです。繰入金は7,200万円（前年比87.80%減）の減額となっています。減額の理由は、令和2年度に実施した回転平膜分離装置交換、消防車両の計画的更新によるものです。繰越金は前年度繰越金と同額の700万円です。諸収入は3千円（前年比1.24%増）の増額です。主な増額の理由は、雇用保険戻入金（前年比7千円増）の増額です。連合債は1,640万円（前年比10.76%減）の減額です。主な減額の理由は、緊急防災・減災事業債（前年比1億910万円減）の減額です。

歳入予算項目別構成比 25億6,171万8千円（単位：千円）



5) 歳出予算目的別構成比

歳出については、菊池広域連合の令和3年度予算編成方針等を作成し、予算要求基準を設定するとともに、構成市町の財政担当課等の指摘を受けながら、併せて需用費等の歳出全般の見直し、削減に努めました。歳出(目的別)の年度比較は下記のとおりです。注)総務費に一括計上した連合専属職員の人件費については、本来の事業に振り替えて計上しています。

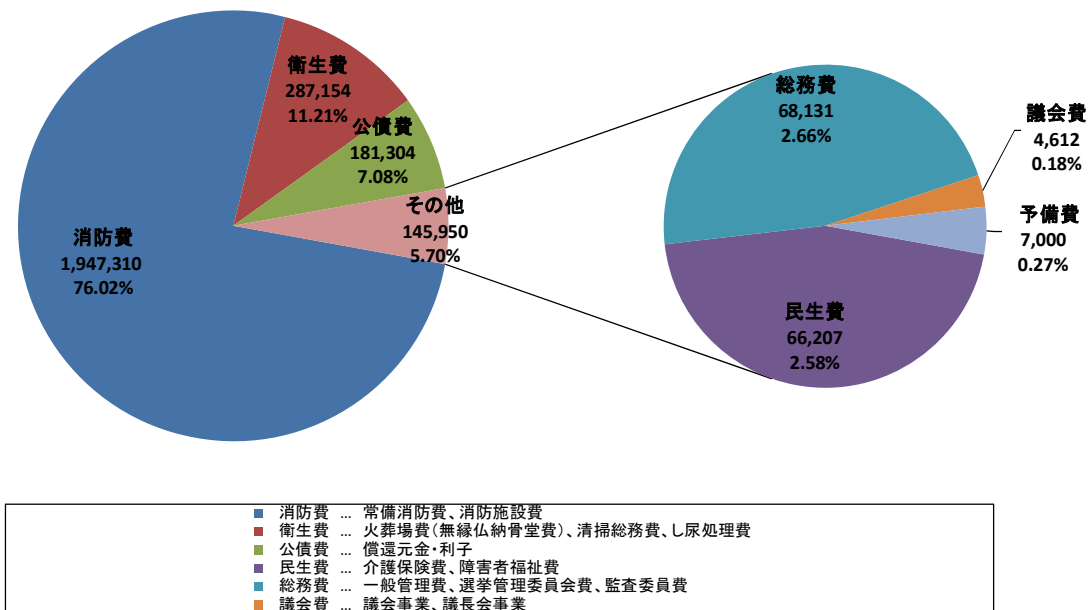
(2) 歳出(目的別)

端数により100にならないものもあります

区 分	令和3年度		令和2年度		対前年比	説 明
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
議会費	4,612	0.18%	2,465	0.09%	2,147	議会事業、議長会事業
総務費	68,131	2.66%	74,675	2.62%	△ 6,544	一般管理費(うち民生費に関する人件費9,847千円、衛生費に関する人件費10,878千円をそれぞれ各費目に配分)、選挙管理委員会費、監査委員費
民生費	66,207	2.58%	69,804	2.45%	△ 3,597	介護保険費、障がい者福祉費
衛生費	287,154	11.21%	401,927	14.09%	△ 114,773	火葬場費、清掃総務費、し尿処理費
消防費	1,947,310	76.02%	2,107,947	73.92%	△ 160,637	常備消防費、消防施設費
公債費	181,304	7.08%	187,796	6.59%	△ 6,492	償還元金・利子
予備費	7,000	0.27%	7,000	0.25%	0	
合 計	2,561,718	100.0%	2,851,614	100.0%	△ 289,896	

議会費は214万7千円(前年比87.10%増)の増額です。主な増額の理由は、隔年実施の正副連合長・議会議員合同視察研修にかかる旅費(前年比226万4千円増)の増額です。総務費は654万4千円(前年比8.76%減)の減額です。主な減額の理由は、令和2年度に支出した泗水支所改修に伴う庁舎維持費負担金(前年比737万1千円減)の減額です。民生費は359万7千円(前年比5.15%減)の減額です。主な減額の理由は、令和2年度に実施した介護認定支援システム改修(前年比246万2千円減)の減額です。衛生費は1億1,477万3千円(前年比28.56%減)の減額です。主な減額の理由は、計画的な施設管理によるし尿処理施設の補修工事費(前年比1億1,500万7千円減)の減額です。消防費は1億6,063万7千円(前年比7.62%減)の減額です。主な減額の理由は、計画的な車両更新による備品購入費(前年比1億4,458万9千円減)の減額です。公債費は649万2千円(前年比3.46%減)の減額です。主な減額の理由は、衛生費償還元金(前年比3,469万6千円減)の減額です。

歳出予算(目的別)構成比 25億6,171万8千円(単位:千円)



6) 歳出予算目的別構成比

歳出(性質別)の年度比較は下記のとおりです。人件費が一番多く(58.43%)、次いで物件費(15.29%)、普通建設事業費(7.27%)、公債費(7.08%)、積立金(3.91%)、補助費等(3.79%)、維持補修費(2.95%)、扶助費(1.00%)、予備費(0.27%)の順番になっています。

(3) 歳出(性質別)

端数により100にならないものもあります

(単位:千円、%)

区分	令和3年度		令和2年度		対前年比	説明
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
人件費	1,496,862	58.43%	1,533,862	53.79%	△ 37,000	報酬、給料、職員手当等、共済費
物件費	391,660	15.29%	379,822	13.32%	11,838	旅費、交際費、需要費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
維持補修費	75,579	2.95%	258,652	9.07%	△ 183,073	火葬場、し尿処理施設、消防施設等修繕
扶助費	25,745	1.00%	24,215	0.85%	1,530	児童手当
補助費等	97,176	3.79%	110,779	3.88%	△ 13,603	報償費、役務費(保険料等)、負担金、派遣職員負担金、公課費
普通建設事業費	186,283	7.27%	249,414	8.75%	△ 63,131	
(1) 補助事業費					0	泉ヶ丘消防署建替えに係る造成工事、災害対応特殊救急自動車、指揮車
(2) 国直轄事業負担金					0	
(3) 単独事業費	186,283		249,414		△ 63,131	
災害復旧事業費					0	
失業対策事業費					0	
公債費	181,304	7.08%	187,796	6.59%	△ 6,492	償還元金・利子
積立金	100,109	3.91%	100,074	3.51%	35	財政調整基金利子
貸付金					0	
繰出金					0	
予備費	7,000	0.27%	7,000	0.25%	0	
前年度繰上充用金					0	
合計	2,561,718	100%	2,851,614	100%	△ 289,896	

人件費は3,700万円の減額(前年比2.41%減)です。主な減額の理由は、消防費の減額(前年比3,737万4千円減)です。物件費は1,183万8千円の増額(前年比3.12%増)です。主な増額の理由は、消防費の備品購入費の増額(前年比166万1千円増)です。維持補修費は1億8,307万3千円の減額(前年比70.78%減)です。主な減額の理由は、し尿処理費の工事請負費の減額(前年比1億1,500万7千円)です。扶助費は153万円の増額(前年比6.32%増)です。主な増額の理由は、消防費の扶助費の増額(前年比153万円増)です。補助費等は1,360万3千円の減額(前年比12.28%減)です。主な減額の理由は、総務費の庁舎維持費負担金の減額(前年比737万1千円減)です。普通建設事業費は6,313万1千円の減額(前年比25.31%減)です。主な減額の理由は、消防費の消防車両購入費の減額(前年比1億4,458万9千円減)です。公債費は649万2千円の減額(前年比3.46%減)です。主な減額の理由は、衛生費償還元金の減額(前年比3,469万6千円減)です。積立金は3万5千円の増額(前年比0.03%増)です。主な増額の理由は、消防施設整備基金積立金利子の増額(前年比4万5千円増)です。

歳出予算(性質別)構成比 25億6,171万8千円(単位:千円)

